

シンポジウム
5月16日

どうなる・どうする？ 取手駅前 取手駅西口開発と街づくりを考える

日本共産党



取手駅北土地地区画整理事業スタートから28年。A街区と駅前広場の整備、その後の再開発事業計画、西口開発は大きな節目をむかえています。安全で快適な駅前整備への問題点や課題、街づくりについて、シンポジウム（日本共産党主催）を開催。遠藤哲人さんの講演と4人のパネラー、会場からの発言も多数寄せられました。

駅前広場の再開発は一度止まって再検討を

会場からの発言は、裏面に

再開発事業...

地権者は土地取られ、市は莫大な補助金支出
儲けはデベロッパーに

NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議事務局長

遠藤哲人氏



柏市でも、財政的に市民生活を圧迫するなど、全国でも取手市と同じような問題が起こっている。

取手市は、旧東急ビルが破綻したのに、またA街区に再開発ビル？普通7～8年で完成する小さいエリアの区画整理で、30年もかかって事業費199億円もの支出は大変な問題。A街区再開発ビル（タワマンなど）にも取手市が莫大な補助金を投入

し、デベロッパーが儲かる仕組みになっている。

地権者は土地を取られ、ビル床をもらっても、売れなければ不良資産に。再開発ビル床の店舗や住宅は安く、公共施設の部分は高くなる仕組みになっている。

取手市は公共施設を入れるべきではない。

○再開発事業は地権者主体で 取手市議会議員

細谷典男氏



取手駅西口を取手の顔にと区画整理事業が始まったが残る1棟が賛成しなければ成立しない。市のトップが動かないと進まない。

山一ビルを早く壊したのは、失策。早めた理由を議会で追求する必要がある。再開発事業は地権者主体で。市の支出圧縮を図るため、市の施設配置は行うべきではない。

○将来を見据え柔軟な再開発を

元大学教員 富岡茂雄氏



交通広場の整備計画は利便性が高まる期待がもてるが、高層マンション建設計画には賛成できない。高コストで、30年後には廃墟化するとの指摘

もあり、最終的に取手市の負債となる可能性が高い。

取手市には、子育て支援、若い世代に選ばれる町を、将来を見据えた柔軟な再開発を望む。

○取手駅集中でなく 市全体の活性化を

戸頭から市政を考える会 松本裕樹氏



『「選ばれるまち」取手へ』という市のPR冊子に、取手駅前、取手の顔としてイメージアップを図るとあるが、市民の納得のいく開発になっ

ていない。市内には8駅あるが、取手駅集中でなく市全体の活性化を考えてほしい。高層マンションに来る人たちだけでなく、他の住民の住環境も考えてほしい。

○西口一極集中改め生活圏重視を

日本共産党 高木 晶



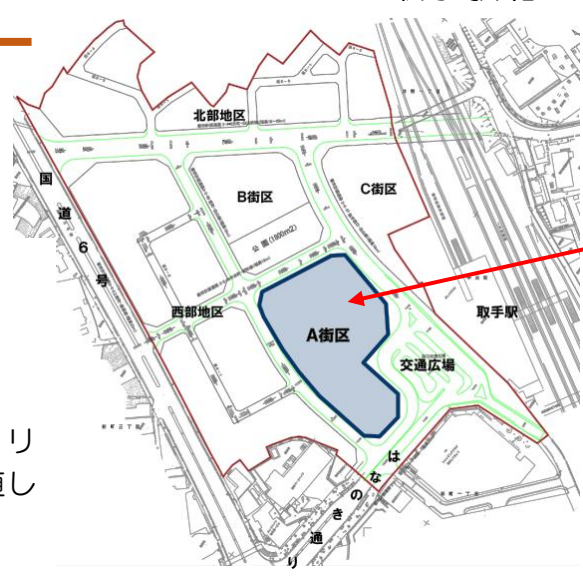
街づくりは一極集中でなく生活圏重視への転換を。

区画整理は、地権者の合意に至らず、事業は遅れ多額の補償金を払い続けている。速やかに、最小の経費で安全な交通広場の整備を。

再開発は、行政の補助金など巨額の税金が投入される。

権利者も取手市もハイリスクの再開発は中止・見直しを。

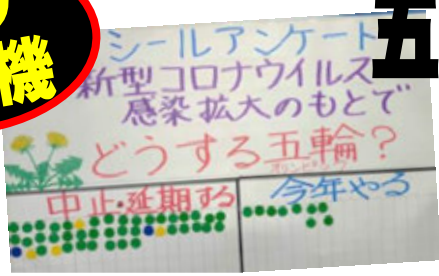
●取手駅北土地地区画整理事業



施工者：取手市
約6.5ha
(西口交通広場含む)
総事業費199億円

●市街地再開発事業

(タワーマンションなど)
施工者：権利者組合
約0.7ha
(区画整理区域A街区)
事業費148億
(2017年計画立案業務委託)



五輪中止決断で、国民の命を救う対策に 政府も自治体も集中を 日本共産党



5月24日、日本共産党が東京五輪の賛否問うシール投票実施
午後の45分間取手駅東口前で行ったシール投票に137人
市民も高校生も五輪中止・延期に8割賛成、今年実施は2割に

PCR検査進まず ワクチン接種世界で130位

感染拡大第4波は、東京、大阪だけでなく全国に広がり感染者も重傷者も増え続け、医療体制は逼迫、崩壊の危機に直面しています。

コロナ危機が長引く中、暮らしと事業の疲弊も深刻化しています。

ワクチン接種は世界で

130位と立ち遅れ、PCR検査拡大は「検討する」と言うばかりで遅々として進みません。

対策に、中身の無い緊急事態宣言延長・拡大の繰り返し、救える命も救えない、国民に危険を招く失政に政府は全く無反省です。

医療ひっ迫、
疲弊する暮らしと営業

五輪中止判断は 日本政府の責任

目前に迫る東京五輪開催中止の判断を求められた菅首相は、「IOCが判断すること」「安全・安心な大会の実現に全力」と繰り返すばかりです。5月21日IOC副会長は大会組織委員会とのオンライン会議後の記者会見で、緊急事態宣言下でも五輪を開催する姿勢を示しました。

日本共産党の小池晃書記局

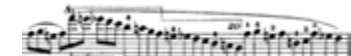
長は「感染が拡大、医療崩壊をしても、五輪は実施する」と言うIOC副会長の発言に断固抗議する」と表明。

「国民の命に責任を持つのは日本政府、今こそ五輪は中止しコロナ対策に集中を」と訴えました。日本共産党は1月から政府に対し五輪中止の決断を求めています。



暮らし・コロナなんでも相談所
市議会議員・党事務所
0297-72-7816 迄

ワクチンの安全・迅速な接種、
大規模な検査、十分な補償と
生活支援を求めます。



出演 ピアノ演奏
西元真澄 さん
田村 愛 さん
福田千江 さん
レクチャー
三澤寿喜 さん

6月19日(土)
14:00 開演
(13:30 開場)

取手市民会館大ホール

チケットは

「取手市民会館」0297-73-3251

「中ホールの会」090-2536-8010 (若井美恵子)

主催：取手中ホールの会／取手文化事業団

生きるために必要不可欠な文化・芸術

コロナ禍の中「アーティストは、今生きるために必要不可欠な存在」(ドイツ文化大臣)、「文化を救おう」と世界で先進的な補償を行うドイツに日本政府も学んでほしいものです。

出演者は、取手に住み活動するプロの音楽家

です。

「コロナ禍」1年半の不自由な音楽活動を強いられながらも、文化の灯を絶やさぬよう活動しています。

私たちも、取手での地域文化の振興に芸術家のみなさんとともに力を合わせます。

コロナ禍の 今こそ 生演奏

音楽はホールに集まった演奏者と聴衆が一体となり、相互の熱気や高揚感を共有しながら作り上げていく「生き物」です。集うことが禁じられたコロナ禍においてこそ、音楽とは「人と人」とがともに集う「こと」からしか始まらない芸術……生演奏ならではの感動を共有して……(主催者・出演者一同呼びかけより一部抜粋)



シンポジウム表面に続く フロアー発言

市民の声活きるまちづくりを

- 市は、街づくりでソフト面の発信が弱い。我孫子や龍ヶ崎はHPに載っているのに。
- 芸大生の市長賞作品など素晴らしいものがあるのに、ほこりをかぶっている。作品を保存・展示など、文化を大事にしてほしい。
- 30階建てマンションが、将来廃墟になるイメージしかない。取手市は、ホッとする場所でありたい。議員さん、頑張ってください。
- 決定権は議員であるべき。議員同士が話し合い、

- 市長にぶつけるべき。
- (タワマンに)市の公共施設を入れるのやめてほしい。税金は有効に使って。マンションをつくるなら地権者だけでやってほしい。
- 戸頭では出前講座を開いた。市の職員にも意見をぶつけ市民の声街づくりを生かそう。
- 取手市は子育て環境を整えることが大切。
- この会を契機に「西口開発を考える会」を立ち上げてはどうか。

駅前整備「公共の福祉」に相応しく

まとめの発言(遠藤哲人氏)

西口開発をきっかけに、街づくりを考えよう。「公共の福祉」を考えるのが市役所の仕事。

都市計画決定権は市長にあるが・要望を出し・情報公開・みんなで計

画を決めるというスタンスで改善させていこう。今、タワマンは郊外では見直す所が多い。一度建てたら再築できない。取手市が入ったら、その後も財政支出することになる。

水道料金値上げストップ
市民と共同 署名にご協力ください。